令和7年1月21日

振動加速度レベル計量証明書

株　式　会　社　シ　タ　ラ　興　産　　様

証明書番号	V2501－066	計量証明事業登録 埼玉県 第 振10 号 株式会社 環 境 テ ク ノ 埼玉県東松山市大字大谷 3068-70 電　話　0493（39）5181 ＦＡＸ　0493（39）5191 環境計量士　加 藤 俊 一
計量の対象	貴社工場からの振動レベル	
測定種別	工場振動	
測定区分	昼間の区分	
測定年月日	令和7年1月17日	
測定者氏名	加 藤 俊 一	
測定場所	埼玉県深谷市折之口1788-1 貴社 敷地境界、詳細は【測定点位置図】に示す	

貴社ご依頼による振動加速度レベルの計量の結果を次のとおり証明します。

測定点	測定時刻	振動レベル（dB）	参考値			
			ピーク値	L_{10}	L_{50}	L_{90}
No.1	13:20 ～ 13:30	43	62.0	42.8	34.1	30未満

備考

計量の方法

「JIS Z 8735:1981」及び「特定工場等において発生する振動の規制に関する基準」に準拠

気象の記録

天候:晴れ　平均風向:北北東～北西　平均風速:2.7m/s　気温:11.8℃　湿度:22%

1. 測定の概要

- 通常稼動中の貴事業所敷地境界線において、どの程度の振動が発生しているか確認することを目的としました。
- 測定は敷地境界線1地点を測定しました。
- 貴事業所は埼玉県生活環境保全条例における区域区分の対象外に立地しています。
  測定点については、民家に近い工場の南西側で振動の発生源（第3工場の破砕作業）付近の敷地境界線1地点を選定しました。
- 測定点は依頼者様との合意により選定しました。
- 今回の測定には尾島様にお立会いいただきました。
- 同時に騒音測定も実施しました。

2. 使用測定機器

使用した機器の名称・型式	測定方式・使用条件	
振動レベル計 リオン VM－55	振動感覚補正	補正回路使用
	測定振動方向	鉛直方向
	測定の対象	振動レベルの経時変化
		L_{10}（80%レンジ上端値）
		L_{50}（中央値）
		L_{90}（80%レンジ下端値）
		ピーク値（最大値）
	ピックアップ位置	敷地境界線近くのコンクリート上 またはよく踏み固めた土の上

３. 測定結果一覧

【騒音測定結果一覧】

単位はデシベル　dB(A)

測定点	朝の区分		昼間の区分		夕方の区分		夜間の区分		備　　考
	計量の結果	**規制値**	計量の結果	**規制値**	計量の結果	**規制値**	計量の結果	**規制値**	
1			53	**70**					
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

備 考

【振動測定結果一覧】

単位はデシベル　dB

測定点	昼間の区分		夜間の区分		備　　考
	計量の結果	**規制値**	計量の結果	**規制値**	
1	43	**－**			
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

備 考

解析値の欄が左記の様な塗つぶしになっている場合、規制値を超過しています。

4. 振動測定結果・測定チャート

【振動測定結果（令和7年1月17日 昼間の区分）】

単位はデシベル dB

測定点No.	測定時刻	測定結果							規制値	測定時における現場の状況及び **工場振動の計量の結果の決定理由**
		計量の結果	振動レベル パワー平均 Lveq	時間率振動レベル 上端値 L_{10}	中央値 L_{50}	下端値 L_{90}	最大値 Lmax	最小値 Lmin		
1	13:20 ～ 13:30	**43** **(規制値に適合)**	41.6	42.8	34.1	30未満	62.0	30未満	**ー**	・ 公道通過車両による影響が大きい。 ・ 工場内から重機などの作業音が聞こえていた。 **・ 工場からの可能性がある振動が確認されたので、上端値の振動43dBを計量の結果とした。**

※ 測定方法及び測定値の整理・表示方法は、“振動規制法-特定工場等において発生する振動の規制に関する基準”に準拠。